



平成 25 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松下 功夫  
コード番号 5020 東証・名証第1部  
問合せ先 財務IR部IRグループマネージャー  
山本 真義  
(電話番号 03-6275-5009)

### 当社子会社による鹿島製油所における溶剤脱れき装置および発電設備の設置について

当社子会社のJX日鉱日石エネルギー株式会社（社長：一色 誠一）は、グループ会社である鹿島石油株式会社の鹿島製油所（所長：高須 伸二）において、溶剤脱れき装置を新設するとともに、近接する鹿島北共同発電株式会社内に発電設備を設置しますので、お知らせいたします。

当社は、需要の減退により余剰となる重質油を、より付加価値の高い製品にシフトすることで、グループの製造体制の競争力を高めてまいります。

なお、本設備の完成は2015年度中を予定しており、本件による当期連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」 鹿島製油所における溶剤脱れき装置および発電設備の設置について

各 位

## 鹿島製油所における溶剤脱れき装置および発電設備の設置について

当社(社長:一色 誠一)は、グループ会社である鹿島石油株式会社の鹿島製油所(所長:高須 伸二)において、溶剤脱れき装置(以下、「SDA装置」)を新設するとともに、近接する鹿島北共同発電株式会社内に発電設備を設置しますので、お知らせいたします。

本計画では、石油精製の過程で生成する重質油をSDA装置にて、「脱れき油」と超重質な抽出残渣(以下、「SDAピッチ<sup>※1</sup>」)に分離し、「脱れき油」は分解して石油化学製品原料や軽油製品に、「SDAピッチ」はボイラおよびタービン発電設備で燃焼し新電力(PPS)<sup>※2</sup> 事業用電力に変換します。

なお、ボイラおよびタービン発電設備は、鹿島北共同発電株式会社より現在休止中の3号ボイラ・タービン設備を取得・改造すべく検討を進めております。

このように、需要の減退により余剰となる重質油を、より付加価値の高い製品にシフトすることで、当社グループの製造体制の競争力を高めてまいります。

また、本計画の実行にあたり、2013年10月1日付で鹿島製油所にプロジェクト推進組織「建設プロジェクトグループ」を設置いたしますので、あわせてお知らせいたします。

※1 SDAピッチには重質な成分が濃縮しており常温では固体になる。150～200℃程度で液体化した状態で、粘度調整用の基材を混合した後、ボイラ燃料として使用する。

※2 一般電気事業者(東京電力など)が有する電線網を通じ、契約電力が原則50kW以上(小売自由化部門)の需要家に対し電力供給を行う事業者(PPS: Power Producer and Supplier)。

### 記

#### 1. 設備概要

##### (1) 溶剤脱れき装置(SDA: Solvent De-Asphalting)(新設)

- ①建設予定地 鹿島石油株式会社 鹿島製油所
- ②装置処理能力 1. 8万バレル/日

##### (2) ボイラ・タービン発電設備(鹿島北共同発電株式会社より購入・現地改造)

#### 2. 設備完成時期

2015年度中(予定)

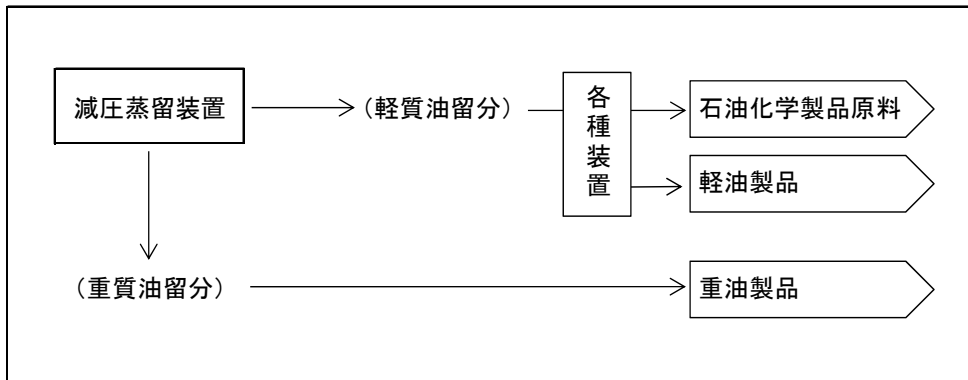
以上

別紙-1: 装置フロー概要図

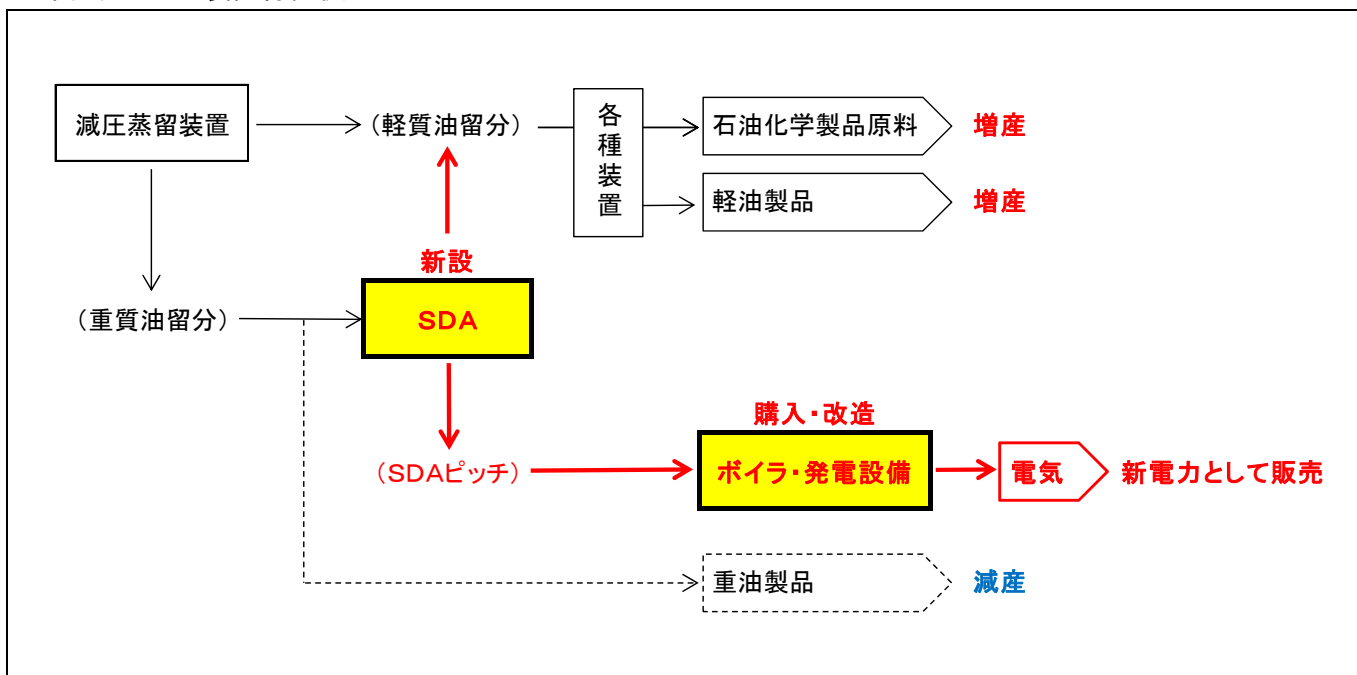
別紙-2: 鹿島石油株式会社および鹿島北共同発電株式会社の概要

【装置フロー概要図】

<現行>



<本計画による装置稼働後>



別紙-2

【鹿島石油株式会社の概要】

(1) 設立年月: 1967年10月

(2) 株主構成: JX日鉱日石エネルギー株式会社 70.68%  
三菱化学株式会社 19.88%  
東京電力株式会社 7.95%  
日本郵船株式会社 1.50%

(3) 事業概要: 石油精製業(JX日鉱日石エネルギー株式会社の受託精製)

(4) 装置能力: 常圧蒸留装置 189,000バレル/日<sup>※</sup>

※鹿島アロマティックス株式会社が所有し、鹿島石油株式会社が運営するコンデンセートスプリッター-63,500バレル/日は外数

【鹿島北共同発電株式会社の概要】

(1) 設立年月: 1968年8月

(2) 株主構成: 三菱化学株式会社 38.25%  
鹿島石油株式会社 22.00%  
鹿島電解株式会社 15.92%  
信越化学工業株式会社 8.42% 他

(3) 事業概要: 電気・蒸気の卸供給(鹿島コンビナート各社向け)

(4) 装置能力: 発電出力 47.5万Kw、ボイラ1,735ト/時